

# BCL新型コロナウイルス対応ガイドライン

最終更新日:2022/3/18

カテゴリ	通し No.	観点	2022シーズン【公開】
公式戦開催概要	1	リーグ戦の成立条件 順位の確定	規定試合数を50%とする 9/8までに全試合を消化できない場合でも、当該球団が規定試合数以上の試合を消化していれば、プレーオフへの進出を決定する順位付けをできることとする 尚、感染拡大状況が厳しい場合は、臨時代表者会議にて各地区毎に不戦勝または規定試合数の変更や中断や打ち切り等を決断することもあり得る
	2	各球団が全試合の消化を目指すための特別ルール	「ホームゲーム開催地域権」の対象地域を拡大 ※NPBの保護地域に準ずる考え方 例:「埼玉-神奈川」を栃木県内で開催する等
オープン戦・練習試合	3	対戦カード	無観客・有観客対応は各管轄自治体と連携を取りながら、感染防止対策を徹底の上、各球団判断で行う
感染防止対策	4	検温記録、行動履歴	各球団に対策を義務付ける。また、各管轄自治体や施設管理者、保健所等の然るべき関係各所と連携の上、本ガイドラインに追加してより各地域に適合するガイドラインを作成することも推奨する
	5	ソーシャルディスタンス	控え選手の待機場所は3密を避け、球場毎に判断 控え選手はウォーミングアップ等の体を動かす時以外はマスク着用を強く推奨する
	6	競技者対応	控え選手、ベースコーチのマスク着用を強く推奨 ユニフォーム着用者のマスク着用は体調等を考慮し、球団裁量にて判断する  球審は飛沫防止のため試合中はインナーマスクを着用(但し、熱中症の恐れがあるため、こまめな水分補給と、周囲の人と十分に距離が取れる場所で、一時的にマスクを外して休憩することは可)
	7	関係者対応	全関係者のマスク着用を義務付け
	8	トレーナー対応	施術時はトレーナー&選手はマスク着用を義務付け 施術記録を残す(避つての調査が可能のため有用)
	9	試合運営①	必要最小限の人員での試合運営を推奨
	10	試合運営②	ボールボーイ、バットボーイは主催球団がボランティアの方々、お子様、その他スポンサー関連様等で外部に委託する場合は、チームとの導線分けやマスク着用等の感染対策を講じた上で球団裁量とする。
	11	試合運営③	2022メディアパスの発行 取材人員名の記録を義務化 必要最低限の人数制限 施設毎に撮影や取材可能エリアを限定
	12	遠征バスにおけるルール	検温、消毒、マスク着用等を徹底 人数は球団裁量で3密対策を徹底の上、最小限人数の移動を図る
	コロナの影響による 中止判断ルール	13	中止にせざるを得ない ケース①
14		中止にせざるを得ない ケース②	自治体、球場の判断で球場がクローズになる場合 ※試合当日に急遽中止が決定することもあり得る
15		中止にせざるを得ない ケース③	球団関係者が感染し、試合運営に支障をきたす場合
振替対応	16	コロナの影響による中止	原則は雨天中止と同様に取り扱う
有観客開催 ガイドライン	17	収容人数	有観客開幕時は政府及び各自治体が定めるガイドラインに則って実施する。社会情勢を鑑みて、適宜見直しもあり得る
	18	トレーサビリティ	別途感染フローに準ずる
	19	検温	非接触体温計による計測の徹底(関係者と来場者全員)
	20	消毒液	球団側で必ず手配 トイレの消毒液やハンドソープ設置の徹底
	21	マスク	マスクなしでの入場は不可
	22	応援	以下の応援を禁止とする ・大声での声援 ※その他の応援の制限については、球団毎の判断による
	23	有観客開催の必須条件	原則有観客での開催とする 不測の事態が起こった時は、都度緊急代表者会議を開催し、各管轄自治体、保健所等の関係各所と連携を取り、有観客の制限をかけることもある

※本ガイドラインの内容は社会情勢を考慮し、代表者会議の決議により変更することができることとする

※新型コロナウイルス対応ガイドラインと運営アグリーメントが競合する場合は本ガイドラインを優先する

※本ガイドラインに記載のないものは球団代表判断とし別途代表者会議で協議する